

開催日時	2021 年 12 月 7 日 (火) 18:00~20:00	会 場	Web 会議 (zoom)
出席者 (○)	担当副会長: ○山口 英生 委員長: ○横山 尊重 副委員長: ○長友 寛昌 委員: ○有泉 絵美 寺本 勉 (欠) ○小川 貴之 ○大根田雄一 ○瀬川 政仁 ○秋山 開次郎 オブザーバー: ○菅股 篤 事務局: 小山 菜摘 (議事録書き起こし)		

1. あいさつ

2. 組織説明

○山口副会長より、神事協組織図 (各委員会、ブロック) の説明

- ・ 会員サポートセンターでは事業承継のような形で仕事を委譲していくことをやろうとしている。
- ・ 同好会は委員会よりは柔軟い組織なので、繋がりを作ってもらえたら。

3. 議題

(1) 委員長・副委員長 互選の件

- ・ 互選にて横山委員長・長友副委員長が決定。
※菅股様は委員承認されるまでは、オブザーバー (副委員長代行のような立場) でご参加いただく。
- ・ 委員は Web 会議参加時に手当がつく。(追記: 1 回 500 円)
- ・ オブザーバーは誰でもウェルカム。
知り合いやメーカー等、賛助会誘致としても活用いただければ層も厚くなる。

(2) 予算関係

○令和 4 年度事業計画書・予算要求案について

- ・ 新規の若手会員が知りたい情報を収集し、動画や SNS で見てもらえる状況を作りたい。
- ・ まずは委員に Facebook の QR コードを読み込んで登録してほしい。
Facebook グループ (仮) で意見を抽出⇒他の委員会や同好会と資料や動画を共有⇒動画ストックを増やし、会員相互の交流を作る。
- ・ 青年世代のメンバーが少ない (集まりにくい) ため、他の委員会 (例: 景まち、ブロック) に青年部会運営委員会の一員として参加し、活動の幅を広げる。
- ・ 収入の部: 動画公開の際、サブスクリプションとして年間ひとり 500 円×50 名=25,000 円、消費税 10%プラスで 27,500 円
- ・ 支出の部: 動画作成費、交通費、事務局経費/青年部会フライヤー (新規開設講習会でのアピール)
- ・ 会議費: 2 か月に 1 度原則 WEB 開催だが、コロナの状況が良くなればリアル開催も視野。
- ・ 「動画の小技」: 技術的、経営的なことの裏技。具体的にはまだ未定。
事務所経営している中で疑問が湧いたとき、検索して参考にする動画を想定
- ・ 神事協で経営的側面をやっている委員会はないので、節税対策・法人化メリット・福利厚生など、個人でやるところをサポートできれば。
- ・ 青年会員: 50 歳未満が該当。
マッチングや相談の橋渡しとして当委員会が機能し、リアルな仕事に繋がることを提案したい。

○日事連・令和 4 年度単位会組織強化支援事業について

- ・ 詳細な部分まで決めなくてはいけない模様。
- ・ 日事連では年 2000 万円×5 年=1 億円の予算が見込まれている。
- ・ 丸投げは難しそう (例: HP 改修の見積が 150 万円で、上限いっぱい申請しあとは業者任せ等)
- ・ 5 万円、10 万円でも申請しておくのが良いのでは。ちなみに日事連の総財務委員長は白井会長。
- ・ 単位会あたり 3 件限度、単位会あたり最大 100 万円、申請書提出期限は令和 4 年 2 月 28 日必着

⇒アイデアを出しながら模索する。

(3) その他

○青年メーリングリスト登録の件

- ・ 業務連絡用に今回出席の委員・菅股様のアドレスを登録。(欠席の委員には個別に確認)

○ブロック支部からの委員推薦について(山口副会長より)

- ・ 推薦が難しいという支部があったが、県全体を網羅した会にするべき。
エリアの知り合いにオブザーバーとしての参加や **Facebook** グループの声かけをしてもらいたい。

○日事連会誌記事の紹介

4. 次回日程および予定議題等

○次回は、2月上旬で **Web** 会議。後日「調整さん」にて決定する。

○フライヤー作成

- ・ 新規開設講習について：現在 **Zoom** で開催。委員会の宣伝もできる場なので活用したい。
次回(2/7開催)は難しいが、来年度に間に合うようにフライヤーを作成予定。

○青年部会運営委員会の仲間を増やすためには

- ・ フライヤーに載せられるような活動を具体的に考えたい。
- ・ 早速今日の会議の紹介として **Facebook** グループを活用する。

以上

開催日時	2022 年 2 月 8 日 (火) 17:30~19:30	会 場	Web 会議 (zoom)
出席者 (○)	担当副会長：○山口 英生 委員長：○横山 尊重 副委員長：○長友 寛昌 委員：○有泉 絵美 ○寺本 勉 小川 貴之 (欠) ○大根田 雄一 ○瀬川 政仁 ○秋山 開次郎 オブザーバー：○菅股 篤 事務局：小山 菜摘 (議事録書き起こし)		

1. 山口副会長よりあいさつ

2. 令和 3 年 12 月 17 日開催の統括委員長会の報告

・ (仮称) 会員サポートセンターについて

東京会は組織事務所が多いこともあり、神奈川会とは少し意味合いが異なる。

・ 市民と行政の中間で機能するのが神事協だが、魅力的な会にしなければ新規会員も入ってこない。

・ 今の体制は、青年部会運営委員会の動きも期待されている。

3. 議題

(1) 日事連・令和 4 年度単位会組織強化支援事業について

・ 締切が迫っており、細かい内容まで詰めなくてはいけないため、申請は難しいと思う。

・ 何かやりたい事業が先にあって、そのための申請なので、申請ありきの議論自体なくても良いのでは。

・ 青年としては、短期間でガッツと仕上げるよりは、皆が忙しい中少しずつ関わっていった方がチームとしての結束が高まると思う。

今回から単位会ごとの上限件数や金額にも制約が出ているが、しごと展を行っている神奈川会は昨年全国でも評価が高かった。特に鎌倉支部はデジタルでしごと展を行い、仕事に繋がったという話もある。

例えば人手不足の支部に対し、フォーム作りを青年が担い、エクセルに入力するだけでページが出来上がるような仕組みを作る等も考えられる。

⇒今回、日事連支援事業への申請は見送ることとした。

現在のメンバーや各委員会とのコラボを模索しながら、次々年度の青年部会運営委員会の活動を考えていきたい。(横山委員長)

○他委員会・他会の取り組み

・ 景観・まちづくり委員会ではコンペを 2 回開催。

どちらも応急仮設住宅関係で、建築技術教育普及センター・神奈川県安全協会の助成金を使用 (賞金・審査員をつける場合、助成金を謝金にまわす)。

青年でもコンペを行う場合はノウハウをお伝えすることもできる。

また、不動産会社 (エンジョイワークス) とともにインタビュー実施に向けてやりとりしており、異業種と連携を図っている。

青年同士のインタビュー動画を公開すると、会員が何をやっているかもわかる。(寺本委員)

・ 同業種の対談は紙面ではあるものの JIA でも実施しているので、目新しさはないかも。やるのであれば、同世代の異業種で活躍している人をお呼びしてはどうか。(有泉委員)

(2) 他委員会 (業務支援委員会) からの検討依頼について

○支部ブロックの官公庁等からの受託業務におけるサポートの合同検討 意見収集アンケートの実施

○「(仮称) 会員サポートセンター (コンシェルジュ)」の設立に向けたコンテンツの検討

・ 官公庁の仕事は業務の負担も大きい (積算・現場に赴く・報告書等)。事務所とのマッチングサポートのような仕組みがあれば良いのでは。若手同士の意見交換会も面白い。

- ・ 広報情報委員会では、(費用面も考慮し) 前向きに検討しますという回答に留めている。川崎支部では市のサポートをやっている方だと思うが、本会として受け皿になってもらえるのは良い。
- ・ 青年部会運営委員会が **DX** に明るい期待されすぎているのであれば、若い世代皆が詳しいわけではないので、そこは交通整理をする必要がある。
- ・ 他委員会でも、若い人=パソコン、というイメージになっているようだ。設計の仕事をやりたいのに、「青年世代だから(詳しいだろうから)」と **DX** 分野が集中しそうにも感じるので、整理したい。
- ・ 青年部会運営委員会が、委員会に入っていない青年会員の窓口という立場になると、その先に繋がっていきそう。

⇒青年部会運営委員会として前向きに検討すると回答することとした。
センターに関しては、新規入会者・若手に特化しサポートする。

(3) 当委員会の宣伝の為のフライヤー作成について

- ・ **A6・両面カラー・2,000部**で予算計上はしている。
- ・ 新規開設者講習を年4回開催しているが、最近は青年世代に限らず参加者自体が少ないため、開催回数を減らすという話も出ている。
- ・ 新規開設者講習・各支部・各ブロックにてフライヤーで青年活動を宣伝する。
- ・ **Facebook** の運用は一旦ストップしているが、今後のことを考えてフライヤーに **QR** コードを載せたい。
- ・ 会長より、青年部会運営委員会としてしごと展を開催してはどうかというご意見を頂戴した。
- ・

⇒次回までに、各自で掲載内容を考えてくることとなった。

(4) 東京都建築士事務所協会主催「関東甲信越ブロック青年交流会」のご案内について

⇒横山委員長、長友副委員長、菅股様に参加することとなった。

(追記：菅股様参加について東京会に確認し、了承を得た。)

4. 次回日程および予定議題等

- ・ 4月中旬開催予定として、調整さんにてスケジュールを決めることとした。
- ・ 議題：フライヤーの掲載内容、青年部会運営委員会としてやっていきたいこと

以上

開催日時	2022 年 5 月 11 日 (水) 15:00~17:00	会 場	Web 会議 (zoom)
出席者 (○)	担当副会長: ○山口 英生 委員長: ○横山 尊重 副委員長: ○長友 寛昌 委員: ×有泉 絵美 ○寺本 勉 ○小川 貴之 ○大根田 雄一 ×瀬川 政仁 ×秋山 開次郎 オブザーバー: ○菅股 篤 事務局: ○小山 菜摘		

■山口副会長よりあいさつ

(各種報告)

■3/18 日事連関東甲信越ブロック青年交流会 (横山委員長・長友副委員長・菅股様出席)

- ・各団体とも、活動内容に変化なし。
地域・団体によって考え方が異なるため、近い地域同士リアル等で活動していけたら。
⇒交流会資料のロードマップ、交流会議事録を東京会へ確認し、当委員会あてに展開する。

■4/15 統括委員長会

- ・(仮称) 会員サポートセンター立ち上げ
青年から意見を出してほしいとの声があり、期待されている。

■以前提出の令和4年度予算案が、要求通り反映されました。

■4月より、新入会員は入会金&会費6ヶ月無料キャンペーン実施中

(議題)

■菅股様 委員推薦について

- ・菅股様が事務所設立→このたび神事協会員(横須賀)に。横須賀ブロックより委員推薦書が提出済
⇒条項ずれ等を修正した規程改正案とともに、5/18 理事会にて上程。

■(仮称) 会員サポートセンター(コンシェルジュ) アンケート内容の確認・分析

- ・理事・支部長・青年部会運営委員会が対象
実務関係の要望が多い(事業計画、経営、税務、Zoom、Web、YouTube)
- ・事務所開設時、経営関係が一番困った。銀行の融資アプローチ等を横のつながりでフォローできれば、若い世代が苦しまずに済む。(寺本委員)

■フライヤー作成について

■青年部会運営委員会としてやっていきたいこと(前回の宿題)

- ・A6・両面カラー・2,000部で予算反映済
- ・まず青年部会運営委員会のHPをつくる
→各コンテンツへの誘導。小技動画、YouTube をアップ
→アンケートフォーム等を使用して情報を登録し、マッチングツールとして皆で使う場に
→顔写真や自分が手掛けた物件の閲覧ができるようにする。
- ・小技動画(2分程度のライフハック動画)
設計場面で苦労すること・興味深い分野の動画をストック。動画作成は手間がかかるが、その過程で会

員同士の交流を増やす。

→取り組む工程数が多いので、ロードマップを示しては。完全に自分たちでやるのは難しい。次の世代に繋げていく土台としては。(山口副会長)

→5～10年ほどかけて達成していきたい。(横山委員長)

- ・ 会長より、青年部会運営委員会としごと展を開催しては？という案があった。

→川崎支部はしごと展開催がないため、支部の垣根なく開催できるならありがたい。(長友副委員長)

→数年前横浜支部で開催時、支部問わず募集した。計画すればできると思う。(山口副会長)

→来年度あたりの開催について先ほどのロードマップに盛り込み、仲間を集めたい。(横山委員長)

※Web開催の場合は、すでに実施した鎌倉支部の費用等の状況を確認。

- ・ トークセッション等、自分たちがやっていて面白くなるようにしたい。(寺本委員)
- ・ アピールポイントを載せられるのは魅力的。サポートセンターのアンケート回答からも、今後やることを拾っていければ。(菅股様)
- ・ 設備・構造設計は毎回知り合いにお願いしているので、横のつながりを広げたい。(小川委員)
- ・ 神事協の魅力は住宅・中高層ビル等、色々なことをやっている人がいるところ。マッチングを利用し、支部を超えて交流が簡単になれば。(大根田委員)
- ・ 何かをやるのが大事。委員だけでも仮でやってみて、投稿をためてフライヤーでアピールしては。(長友委員)

⇒次世代に引き継ぐことをテーマに、やることを絞って進める。(しごと展は来年度等)

■Facebook 公開について

- ・ Facebook の運用の話はどうなっているか。(横山委員長)

⇒以前(12/17)にリンク先 YouTube にて、全体公開で第三者の顔出しがあったため、同日の統括委員長会へ報告・確認が取れるまで、一旦非公開としていただくよう事務局より横山委員長へ連絡。

(事務局：小山職員→小林課長→磯部事務局長)

- ・ 委員会でやりたいことを、事務局が止める権利はない。ルールは決めなくてはいいないが、この内容は広報情報委員会に一任されている。回答がないので、青年部会の自助努力として公開しても問題ないのでは。(山口副会長)
- ・ 事務局が止めるのはよくないが、第三者のチェックがあるのはありがたい話。ご意見だけ受け止めては。(長友副委員長)
- ・ 景観・まちづくり委員会の Facebook ページはあるが、各委員会はない。有料コンテンツも取り扱いが不明確。(寺本委員)

⇒フライヤー作成に向け、Facebook 等限定公開に留め動画を投稿し、ストックを作る。

⇒Facebook・YouTube の運用規程を景観・まちづくり運営特別委員会(寺本委員長)、広報情報委員会(杉本副会長)と連携し内部で作り、統括委員長会→理事会に提出する。

⇒Facebook 記事を原則1人1投稿する。(建築に関わることなら何でも可)

■次回日程および予定議題等

7/29(金) 15:00～17:00 @Web 会議

※参集希望者は、寺本委員の事務所にて集合可

■大根田委員よりあいさつ

以上

開催日時	2022 年 7 月 29 日（金）15：00～17：00	会 場	Web 会議（zoom）
出席者 （○）	担当副会長：○山口 英生 委員長：○横山 尊重 副委員長：○長友 寛昌 委員：有泉 絵美 ○寺本 勉 小川 貴之 ○大根田 雄一 ○瀬川 政仁 秋山 開次郎 ○菅股 篤		

1. あいさつ

- ・横山委員長、山口副会長より

2. 令和 4 年 7 月 1 4 日（18 時～19 時）開催された東京会第 9 回青年部会活動報告会のご報告

- ・横山委員長より、以下の通り参加報告。
 東京会の青年部所属 124 名、当日参加 30 名。
 千葉会、埼玉会、栃木会、新潟会、石川会、香川会、大阪会、熊本会からも参加された。
 B I M 関係の報告、次世代につなげる活動として、高校生、専門学校生に設計事務所の内容等を知ってもらう活動を実施しているとの説明もあった。
 コロナ禍なので、早く顔を合わせて会いたい、ボーリング大会を実施したい等の意見もあった。
 当会としても、もっと仲間を増やしていきたいと感じた。

（ご質問）

- ・B I M の報告の中で、悩んでいること等についての話はありましたか。
 → 実務レベルでの話は無かった。

（情報交換等）

- ・皆さんの B I M の導入（取組み）状況は如何でしょうか。

（寺本委員） ・モデルとして、三次元利用の取組みをしている。また、C G 系（チームモーション）についても模索中。

（長友副委員長） ・積極的な B I M 導入は考えていない。
 ・ベクターワークスアーキテクトの正規版（2021 年版）を導入した。
 導入の際はアーキテクト以上を推奨する。
 I T 補助金：最低 6 0 万円以上が対象で、1/2 が補助金となる。

3. 議題

○横山委員長より、委員長作成のロードマップについて、それぞれの事業等を説明。
 統括委員長会へ資料提出することとした。

- ・フライヤー作成（年度内に作成）
- ・動画投稿（ライフハック動画） 年度内に運営規定の作成。
- ・人員増強・他委員会とのコラボなど
- ・しごと展（青年主体で、オリジナルなもの。WEB も含める。）
- ・イベント・交流
- ・委員会開催予定（今年度は、9 月、1 1 月、1 月、3 月）

（1）動画投稿（サンプル動画）について

- ・ Facebook（非公開）の中に動画等をストックしていく活動。
- ・ 投稿内容の説明
 - 横山委員長：仕事関係の動画。藤沢支部の若手4名で作成。2分程度。
 - 長友副委員長：設計事務所の仕事の一部として、模型の作り方を紹介する動画。画像の素材は、無料のものを利用。
 - 菅股委員：自己紹介的に自身の仕事内容を知ってもらうための動画。アーカイブにもなる。理想としては、仕事につなげていければと考えている。
 - 横山委員長：DIY（珪藻土を塗っている所。）の動画。賛助会にも協力を頂くことも視野に入れたい。
- ・ 神事協公式SNS運用ガイドライン（20220715 理事会承認）を確認。はじめは非公式とするが、公式に準じて運用していくこととした。

（ご意見等）

- ・ 瀬川委員：理解を深めてから発言をしていきたい。
- ・ 寺本委員：動画を作成するスキルがすごい。内容については、とても良い。また、色々な手掛かり（情報）が多い方が良い。スキルを共有してボトムアップにつなげたい。
- ・ 大根田委員：タイミングが悪く作成できていない。どれも興味深い内容。メンバーの中でも相手を知ることは大事だと感じた。継続するためにも定期的（義務的）にアップしてもらうことを考えた方が良い。
- ・ 横山委員長：アップしていくペースは、どのくらいでしょうか。1週間に1本程度？
- ・ 長友副委員長：アップするのは大変（時間と労力）である。今年度については、出来る方がやっていくことで良いのでは。また、運営規程の作成が必要。内容は、建築または設計事務所に関わるものとするなど。また、NGの判断については、当委員会で判断して削除する方法でも良いのでは。色々な動画や写真をアップして頂き、その内容を見て判断していければ。
- ・ 山口副会長：いかに簡単に動画を作成できるか等を教えて欲しい。動画ソフト、Facebook、タグのつけ方等も含めて。次年度予算案の作成について、11月に依頼される予定。青年の中でのコラボレーションや支部の中でも良い。現在支部の中で仕事をシェアしている。7/22 実施された支部長会において、各支部で新しい人を入会させるのに苦労している。また、入会されても青年部会の活動までに至っていない。新入会された方は、会の活動が分からないし、えらい人たちが活動しているイメージ（印象）を持っている感じがある。新入会員へ青年部会の活動を伝えるすべも考え、仲間に入ってもらい視点で活動していきたい。
- ・ 横山委員長：新規開設「建築士事務所」講習会の中で、青年部会のPRをしたいと考えているが、参加者が少ない状況である。ブロック支部委員会で、各ブロック持ち回りで担当ブロックの支部長等を含めての意見交換が9月9日に横浜で実施される予定。その中で青年部会をアピールし、青年部世代の方々にお伝え頂き、参加してもらい交流していきたい。
- ・ 山口副会長：青年世代の方が入会されたら、一度委員会へ呼んでしまう方が良い。支部長の中から、「若手を育てる仕組み（50歳未満で独立したい方のサポート）は無いのか」と質問があったので、青年部会で行っていることをお話しした。当委員会活動に参加いただける仕組みを作り、支部長会へ依頼することが良い。
- ・ 横山委員長：皆さんが参加している他の委員会等でも意識的にPRして欲しい。

<参考>

① スマホなどで動画編集できるアプリ <https://my-best.com/2040>

② 簡単な無料 HP フォーム（ここが一番良いのは検索時に上位に表示されやすい）

https://www.jimdo.com/jp/?utm_source=yahoo&utm_medium=cpc&utm_campaign=JP%20-%20S%20-%20

(2) 来年度開催予定のしごと展について

- ・青年部会主体で、会全体として実施したい。令和5年度の日事連単位会組織強化支援事業へ申請予定。次回までに方向性を決めて、企画を作っていくこととした。

(ご意見等)

- ・菅股委員 : 実施してみたい。開催方法は、リアル、WEBでしょうか。
また、実際にWEB開催した支部はありますか。
→ 鎌倉支部と大和綾瀬支部が実施。
ストリートビュー等を利用したバーチャル的なイメージでしょうか。
- ・横山委員長 : バーチャルはやりたいが・・・
- ・大根田委員 : WEBでの実施想定でしょうか。
→ その通りです。(リアルも出来れば、と考えています)
同時に講演会や作品を評価して表彰するなどを検討しては。
- ・横山委員長 : 負担が大きくなってしまっは仕方が無いので、写真、動画の提供と個人ホームページへのリンク等でも良い。
サイト作成に関しては、費用を調べる。
開催方法の検討として、まずは鎌倉支部方式とし、ルールや内容等を決めていきたい。
- ・長友副委員長 : WEB開催で考え、リアルへも展開していける方法が良い。
- ・寺本委員 : なるべく多くの人も目に触れるようにしていく仕組みが必要。例えば、各支部ホームページからリンクしてもらうこと、各支部で開催する「しごと展」でPRさせて頂くなど。
「しごと展」に出展して頂く依頼を兼ねて、青年部対象の方を訪問し、インタビューをしては。(方法は、事務所訪問、又はZOOM)
作品と本人写真をセットで掲載するのが良い。
- ・瀬川委員 : 発信する場合の対象者、実施する目的については、筋を通した方が良いと感じた。
- ・横山委員長 : 会員増強と交流を目的として実施。仕事につながるようなメリットを作っていきたい。
仲間内と外部に対するアピールの両方が対象。
事務所協会の仲間がつながり、仕事にもつながる活動にしていきたい。
お互いを知り、交流していく。また、疎遠になっている部分を紐づけしていければ。
インタビューはとても良い提案だと感じた。また、他の委員会とのコラボも良い。
- ・瀬川委員 : 現状のスキルでは、動画を上げるのが難しい。
- ・横山委員長 : 開催方法(具体的な内容)を次回までに考えて頂くよう依頼。
鎌倉支部へは企画から実施までをヒアリングすることとした。

<参考 鎌倉支部「しごと展」 <https://kamasigo.org/index.html>>

<参考 大和綾瀬支部「建築しごと展」 <https://j-kana-yamatoayase.jp/2022041240/>>

(3) フライヤー作成について (コンテンツ)

- ・「しごと展」の開催と「動画の投稿を始めています」を内容に入れたいと考えていることを説明。
次回、内容を決めていきたいので、ご提案等をお願いした。

(意見等)

- ・菅股委員 : 事務所協会のロゴを入れる等の制約はないのか。
- ・寺本委員 : 規定は無い。前回ののぼり旗については、神事協のものかどうかが分からなかったの
で、入れることをお願いされた経緯がある。
- ・長友副委員長 : 動画配信と「しごと展」を同時にとあったが、フライヤーを先行し、見た方が興味を
もって参加できるようになった方が良いのでは。

- ・大根田委員：それぞれが同時進行し、相乗効果が出来ればなお良いのでは。

(4) その他

①9/29 開催「青年話創会 2022 熊本大会」について

- ・横山委員長と菅股委員が出席することを報告。併せて、熊本会へ提出した報告書を説明。

②イベント・交流情報

- ・青年世代を含めたものとしたい。

③会員増強、他委員会とのコラボについて

- ・作成するフライヤーを活用して、進めていきたい。

④日事連・単位会組織強化支援事業について

- ・横浜支部申請、採択された「(仮称)持続可能な神奈川の住まい・まちづくりを考える」についてこれからの住まい、まちづくりを先行事例から考えるセミナーを実施。また、研究会も設置した。9/27 と 9/28 のいずれも午後、青木公隆様より講演頂く。神事協会員は参加可能。仕事の広がり等について、ご意見等があれば出して頂きたい。

<参考 講演者情報 アーコアーキテクト 青木公隆 様 <http://arco-architects.info/>>

⑤景観・まちづくり特別委員会からの報告

- ・湯河原町まちづくり課と景観整備機構指定について調整中。
幕山公園と川端公園の調査を 9/4 に実施予定。
サーヴェイ段階の情報と提案が必要
参加可能なので、青年部会の方にも関わって頂きたいとお願いした。

⑥委員会開催時刻の変更について（秋山委員からの要望）

- ・残業代等のこともあり、会長から各委員会へお願いされている。
- ・議事録作成に時間が掛かっているようだ。事務局には時間を作り、クリエイティブなことを考えて欲しいと要望している。そのため、議事録については委員会内で完結できる仕組みづくりを考えたい方がよい。

⑦7/29 有泉委員からの情報提供

- ・先日、横浜市磯子区で「親子建築模型体験」があり娘と参加してきました。
私が所属する団体(事務所協会、建築士会、JIA)ではそのようなイベントをすると聞いていないため、主催は何かかなと思いつつの参加。
atelier HOWTHINK の磯子区在住のメンバー(多分、30 代)が一人で 5 組に行っていました。
衣食住を義務教育内で教えると言っているが、住に関しては、学校での教育が弱いと感じ、少しでも建築に触れてほしいと、数人で集まり、模型キットも自分達で作り少しずつ活動しているが、神奈川県メンバーがひとり？なので、あまりイベントはできないとの事でした。
建築士会には所属しているようです。
事務所協会に青年部会というものがあり、もしかしたら、一緒に何か活動ができるかも…というお話をしたら、興味を持たれておりました。
もし、青年部会で、子どもへの建築体験イベントを通して、事務所協会を一般の方々へ周知する機会&会員を増やす事にご興味があれば、教えて下さい。宜しくお願い致します。

<参考>

<https://www.facebook.com/atelierHOWTHINK/>

https://www.city.yokohama.lg.jp/naka/kurashi/kyodo_manabi/kyodo_shien/kuminkatsudo/machinosenns_eitiran.files/0268_20220318.pdf

4. 次回日程および予定議題等

- ・ 9月開催予定とし、調整さんで調整。

山口英生副会長より

- ・ 青年については、全国的にあったまってきたおり、やっと動き出してきたとの印象。
- ・ 活動としては、仲間（青年世代）の支援をやっていかないと思っている。
- ・ 自身も青年世代ではなくなってしまうため、次の方々が活動をして頂きたい。自身としては、活動内容等を本会へ通す役割を担う。また、支部長や他委員会へ青年部会をPRしていく。
- ・ 横浜支部内の合同役員会で以下の提案をする予定。
新規開設「建築士事務所」講習会受講者などで青年に該当する方に対して、当委員会に1回は参加してもらい、活動を知って頂くための活動提案を予定。

開催日時	2022 年 9 月 27 日 (火) 10:00~12:00	会 場	Web 会議 (zoom)
出席者 (○)	担当副会長: ○山口 英生 委員長: ○横山 尊重 副委員長: ○長友 寛昌 委員: ×有泉 絵美 ○寺本 勉 ×小川 貴之 ○大根田 雄一 ×瀬川 政仁 ×秋山 開次郎 ○菅股 篤 事務局: ○小山 菜摘		

■あいさつ (山口副会長)

- ・ 相模原支部オブザーバー1名の参加が今回かなわなかったが、次回からアポイントを取って調整してほしい。
- ・ 横浜支部は入会数も多いが、コロナ禍もあり入会者に対しアフターケアが少ないと感じる。他会は交流の場を設ける・仕事を回す等、あったかい会となっているようだ。神事協は事務的な対応が多いため、アプローチを考えていきたい。

■各種報告等

- ・ 会報誌編集特別委員会より、
会報『KANAGAWA』11月号に全国大会報告 (青年話創会) 寄稿依頼あり。
締切 10/7。横山委員長・菅股委員で担当
- ・ 支部長合同ブロック支部委員会 提案内容について (横山委員長より)
直に意見交換出来る場を設け、支部からオブザーバー参加も可能としたい。
- ・ 横浜支部主催「第1回持続可能な神奈川の住まい・まちづくりを先行事例から考える連続セミナー」
寺本委員より案内
- ・ 景観・まちづくり特別委員会 寺本委員長より情報提供
温泉檜の景観調査を実施したところ、湯河原都市計画課より課題2点を示された。
①静岡県との県境の公園の整備
②幕山公園 通年の集客 (梅林時期は観光客が多いが、それ以外の時期の集客)
事業化に取り組むべくこれからアクションを起こすので、興味のある方は連絡してほしい。

■議題

(1) フライヤー作成について (コンテンツ)

- ・ 表: 青年部会運営委員会のアピール ※基本変更なし
裏: イベント等、その時によって内容を変えて印刷
各支部の青年世代に読んでもらえるような内容に。
 - ・ 今後のスケジュール
11月委員会: 掲載内容検討 1月委員会: デザイン検討
 - ・ 青年部会運営委員会としてのアイコンを作成してはいかがか。(寺本委員)
→神事協のマークを絡めるか、そうでないかも知りたい。(菅股委員)
- ⇒次回委員会までに各自で掲載内容 (箇条書き等。デザイン案も歓迎) を考えてくることとした。

(2) 来年度開催予定のしごと展について

- ・ Web 開催を基本として、可能であればリアルで企画・講習会を行う方向
- ・ (参考) 鎌倉支部: Web 制作費用 50 万円程度 / 大和綾瀬支部: VR で展示を見ることが可能
- ・ エアメッセ (展示会ブースを AR で再現): <https://airmesse.jp/>
1 ブース 5.5 万円～。Web 内に展示場をつくる場合、YouTube のリンクが可能

- ・ ギャラリスト 3D（美術館のような VR）：<https://gallerist3d.com/>
60 作品、60 作家までで月額 3,300 円～
- ・ ある程度外注になるが、作成時どういう手順で行うか。また、内容が良ければ良いほど費用がかかりそう。（長友副委員長）
- ・ サービスを 1 度利用すると、その後自分たちで変更できない。フレキシブルにお金をかけずにやるなら、コードを書ける人を探すか、自分たちで勉強した方が早いかも。ただ、負担は増える。（山口副会長）

（3）次年度予算案の作成について

- ・ しごと展実施にあたり日事連支援金として 100 万円の収入を見込んでいるが、委員会活動費に組み込んで良いものか？→事務局にて要確認。
⇒追記：事務局だけで判断は難しいため、青年部会運営委員会として「収入の部」に日事連見込み支援金をいったん盛り込んで予算案を提出し、12 月の統括委員長会にて投げかけてはどうかという話があった。

（4）（仮称）会員サポートセンター設立に向けて

- ・ 業務支援委員会から戦略企画講習会の依頼が来たが、報告スケジュールがかなりタイト。負担が増える一方なので、重く受け止めず自分たちが今やっていることを当てはめていく方が良い。新規開設向け講習会は、入会効果はかなりあるようだ。講習会内で青年部会運営委員会として時間をもらい、税務処理のコピー代計上等、皆が気になる部分を伝えてはどうか。（山口副会長）
- ・ 自分がやったことのない仕事の場合の対応や、仕事を取れた過程を伝えては。しごと展の展示でアピールできる内容でもある。
PR にあたり、記事作成（コンテンツ集め・テキストと画像収集・入力するライターを集める）が最も難しい。結局最終的に自分が執筆するケースが多く、皆が分担してやれるかどうかが鍵。媒体は問わず、記事をためることを重視しては。（寺本委員）

⇒横山委員長が 10/14 中間報告の文書を作成し、メーリングで流すこととした。
内容は作業量が負担になりすぎないことを意識する。

（5）その他

- ・ 会員より、ワンコインナイト再開希望の声をいただいた。
- ・ 現在の神事協のコンテンツは、仕事があり成立している事務所が前提となっている。
事務所を開設した方に向けて、継続的にサポートする仕組みを構築できないか。
例）車検のように数か月・数年ごとに支部や事務局から連絡する仕組み
先日の支部長会で、支部単位で入会者のフォローをお願いし、難しければ青年部会運営委員会に紹介をお願いした。（山口副会長）
- ・ 入会当初は組織が見えてこず、役員になって交流してやっと分かってくるようになった。
青年世代でざっくばらんに話す時間も必要に思う。（大根田委員）

⇒事務局より、ここ 2 年の入会者で青年世代の事務所を支部ごとにリストアップし、メーリングすることとした。

■次回日程および予定議題等

- ・ 11/2（水）15：00～17：00 @神事協会議室 2F
終了後、懇親会（予定）

開催日時	2022 年 11 月 2 日 (水) 15:00~17:00	会 場	Web 会議 (Zoom)
出席者 (○)	担当副会長: ○山口 英生 委員長: ○横山 尊重 副委員長: ○長友 寛昌 委員: ×有泉 絵美 ○寺本 勉 ○小川 貴之 ×大根田 雄一 ×瀬川 政仁 ×秋山 開次郎 ○菅股 篤 業務支援委員会: ○永島副会長 ○小山委員長 ○早川委員 事務局: ○小山 菜摘		

■あいさつ (横山委員長)

■各種報告等

- 9/30 全国大会が熊本にて開催。9/29 青年話創会には横山委員長・菅股委員が参加。
神事協会報 11 月号掲載

(寺本委員より以下 3 点案内)

- 日事連の景観・まちづくり委員会にて、全国の活動について冊子を発行する予定。
欲しい人は寺本委員まで。
- 「持続可能な神奈川の住まい・まちづくりを先行事例から考える連続セミナー」
横浜支部にて 11/30 開催
- 12/2・3 に大山講同好会を伊勢原宿泊にて開催。
エキスカッションや、行衣で参拝を実施予定

■議題

(1) 会誌「日事連」「新年の抱負」執筆者選定について (11/28 原稿締切)

- 小川委員が執筆を担当

(2) 次年度予算案について

(3) しごと展について

- (仮称) 会員サポートセンター検討依頼を受け、年 2 回 BIM 案内会を盛り込んだ。
- しごと展 WEB サーバー保守費の予算を 2 パターンで作成
① 5,500 円×12 ヶ月=66,000 円 ※1 社 2 作品まで
(ギャラリスト 3D ; <https://gallerist3d.com/>)
② 55,000 円×30 ブース=1,650,000 円
(エアメッセ : <https://airmesse.jp/>)
現実的なのは①だが、フォーマットが決まっているため自分たちで自由にいいれない。
- 動画をストックしても、解約するともう見れなくなってしまう？
せっかくならずと残る形で活用したい。
- BIM 自体、導入へのハードル (主に資金面) が高い。
- 日事連からの見込み支援金を収入の部に記載して良いかは事務局では判断できないため、
いったん収入に計上して予算案を提出し、12 月の統括委員長会で様子を見る。

⇒横山委員長が再度予算案を修正し、委員会に流すこととした。

(4) (仮称) 会員サポートセンター設立に向けて

(業務支援委員会より検討依頼内容、経緯の説明)

- 設立経緯: 神事協サービス (コンテンツ) の整理、非会員との差別化、会員増強に繋げる

「神事協に入会するとおトク」という構えをつくるのが目的。

外向きサポート：各事務所（もしくは支部単位）が仕事を取るために、どんなサポートができるか
神事協でまかなえないコンテンツは、外部委託を視野に日事連サービスへヒアリング予定
サポートセンターが出来ることで、事務局の負担が増えるのも良くないと認識している。

神事協会報 11 月号に（仮称）会員サポートセンターちらしを同封。

「経営塾」講習会を実施したこともあるが、青年世代の参加が少なかった。

青年部会運営委員会には、各委員からの要望の吸い上げ等、アイデア出しを行っていただきたい。（永島副会長）

- ・ 求められている内容と提供できる内容のギャップがある。
青年部会運営委員会にはそこをまとめていただければ。（小山委員長）
- ・ 「講習会」という言葉が強すぎるかも。スキル向上の講習会は他にもある。
それよりもワンコインナイトのように、コミュニティを重視いただきたい。（早川委員）

（各自意見）

- ・ 講習会となると、企画側も参加側も難しいと感じていた。
- ・ 告知方法も問題があるかも。メールだけでは中身を見ない人が多い。
- ・ 企画・講習実施は青年部会運営委員会にはそぐわない。
また、駆け出しの事務所に対し経営塾講習会等はハードルが高い。
実務で使えるアーカイブがたまると嬉しい。
- ・ 福祉関係の仕事を支部で受ける等、社会貢献の意味合いが強い仕事ができるのも神事協ならではの。
- ・ 小山委員長・早川委員が窓口となり、アンケートを実施（設問は青年部会運営委員会で考案）等もあり。
- ・ 今やっていることから徐々にすり合わせて進めていけば良いのでは。

⇒11/18 理事会にて、以下まとめて検討結果を示すこととなった。

※横山委員長が案を作成し、理事会では山口副会長より発言

①青年部会運営委員会へ期待されているのはコンテンツ出し

②事業への関わり方の検討（これは自分たちでやる、これは任せる 等）

（５）フライヤー掲載内容・アイコンについて

- ・ 菅股委員作成のアイコンを確認
- ・ フライヤーのたたき台を菅股委員が作成し、次回委員会にて意見を募ることとした。

■次回日程および予定議題等

- ・ 1 月会議を予定。調整さんにてスケジュール確認

開催日時	2023 年 1 月 13 日 (金) 10:00~12:00	会 場	Web 会議 (Zoom)
出席者 (○)	担当副会長: ○山口 英生 委員長: ○横山 尊重 副委員長: ×長友 寛昌 委員: ×有泉 絵美 ○寺本 勉 ×小川 貴之 ○大根田 雄一 ×瀬川 政仁 ×秋山 開次郎 ○菅股 篤 オブザーバー: ○竹内 軌道 業務支援委員会: ○永島副会長 ○小山委員長 事務局: ○小山 菜摘		

■山口副会長よりあいさつ

■各種報告等

- ・ 日事連会誌 1 月号に小川委員執筆の記事が掲載された。

■議題

- (1) 「(仮称) 会員サポートセンター設立に向けて」コンテンツ検討アンケートについての意見出し
 - ・ 日事連の会員サービス検討 WG に白井会長・永島副会長が参加中
 - ・ 2/17 統括委員長会でアンケート結果報告
→3/17 理事会報告
→4 月末サポートセンター全容説明会
→6 月の総会で決議が必要なものを提出 (予算も取る?)

(アンケート案について各自意見)

- ・ 匿名で回答ではなく記名式を希望。
現在の会員検索ページは細かく探すことができない。
紐づけは難しいが、より情報を得て会員のデータベース化が必要と思う。
- ・ 現行案は回答項目が多く、経営サポート: 事務所運営で 1:2 程度。
回答前に確認できるよう概要欄に記載しては。
また、説明会で理解を深めた後にアンケート配布が望ましい。質問欄も設けてみては。
- ・ 兼業の人はどう支援してほしいか見えるとよい。
- ・ アンケートを取っても、その後の展開が上手く繋がらない。
次のアクションを見据え、コメントをくれた人にアプローチしては。
- ・ 以前別の委員会で作成したアンケートは毎年実施予定だったが、
組織再編で委員会自体消滅してしまった。
1 回で網羅し結果を出すのは難しい。
内容をシンプルにし、次回の内容はレベルをわけのるのもあり。
シンプルであるほど HP に掲載するような常設アンケートにもできる。

(2) フライヤーたたき台・デザイン案決定

- ・ 菅股委員のデザイン案をもとに、掲載内容を話し合った。
- ・ 新規開設講習で配布予定 (次回 3/24、間に合わなければ次の 5 月)
- ・ 内容更新時は部数を調整し、PDF にしてメール配布もあり。

(検討内容)

- ・ 表: コピーライト「(例) つながる仲間、つながる仕事」
青年部会がどんなところか、参加してよかったと思える内容
- ・ 裏: 催事情報、QR コード
例) しごと展とは? の説明、ブロック支部委員会活動 (地引網、スポーツ大会)、

青年世代のその他活動 PR（お悩み相談できる環境等）

⇒コピー文言は各自宿題。

⇒会議欠席者にも送付し、掲載内容について広く意見を募る。

（3）次年度予算案について

- ・ 提出した内容を確認した。

（4）しごと展について

- ・ 横山委員長がたたき台を作成する。
- ・ Web 開催を基本とし、来年度 6 月に開催予定

■次回日程および予定議題等

- ・ 3 月上旬を予定。後日スケジュール調整

開催日時	2023 年 3 月 8 日 (水) 9 : 30~11 : 30	会 場	Web 会議 (Zoom)
出席者 (○)	担当副会長 : ○山口 英生 委 員 長 : ○横山 尊重 副 委 員 長 : ○長友 寛昌 委 員 : ○有泉 絵美 ○寺本 勉 ○小川 貴之 ○大根田 雄一 ×瀬川 政仁 ×秋山 開次郎 ○菅股 篤 事 務 局 : ○小山 菜摘		

■山口副会長よりあいさつ

■各種報告等

- ・ 日事連会誌 1 月号に小川委員執筆の記事が掲載された。

■議題

(1) フライヤー内容について

- ・ 表面 : コピーライトの意見出し「(例) つながる仲間、つながる仕事」
裏面 : 催事情報意見出し・記載内容決定
例) しごと展とは?の説明、ブロック支部委員会活動(地引網、スポーツ大会)等

(検討内容)

- ・ ログの下の方がかっちりしているので、バランスを考える
- ・ 青年の全体像として、四角ではなく円形よりのロゴも見てみたい
- ・ 英字の色調整(グレー?)が必要かも。コピーライトの方にもデザインを加える?
- ・ パッと見て、何をしている所かわからないかも(結論オモテ→内容ウラ等)
ウラ : 青年部会が何をするとするか、目指すもの
- ・ 催事情報は端的に「子供向けイベント企画を検討中」など記載したほうが、人は集まりそう。
- ・ 青年部会は世話人的役割が大きく、相談窓口などは難しいと思う。
- ・ コピーライト案 : 「人と人、仲間でつなぐ未来」

⇒次回委員会(5月)で内容を決定する。

(2) しごと展について

- ・ 日事連単位会組織強化支援事業の補助金は、青年部会運営委員会単体での申請不可
神奈川会は会員サポートセンター(仮)が満額支援を狙うこととなった。
⇒WEB しごと展(サーバー費用 66,000 円/年)の 11 月開催に向け動いていく。

(各自意見)

- ・ 会員事務所に募集をかけ、WEB 上に展示する作品を出してもらうのはどうか。
- ・ 委員会も 2 ヶ月に 1 回ではなく、別途打合せが必要かも。
- ・ WEB 展示と並行し、講習会・勉強会をやっても面白い。
- ・ コピーライト「つながる」に沿って、座談会を開催しては。
- ・ 以前開催のワンコインナイトは開催希望の声も根強い。
しごと展と絡めると色々展開できそう&コロナ明けは動きやすそう。
- ・ Facebook、HP を展開するのは整備が大変。
特に HP 系は結局 1 人だけに負担がかかるため、分業しては。
例) 管理者は 2 人・記事執筆者は〇〇委員等
個人としても、発信スキルを身につける良い機会だと思う。

(3)「関東甲信越ブロック WEB 青年交流会」

- ・ 開催日時：令和 5 年 3 月 29 日（水）18：00～20：00（Zoom）
参加締切：3 月 10 日（金）
- ・ 横山委員長、菅股委員が出席。事務局より参加申し込みを行う

(4) その他

- ・ 各自講習会のインフォメーションを行った。

■次回日程および予定議題等

- ・ 5 月の 15：00～17：00 神事協会議室にてリアル開催後、懇親会
日程は調整さんにてスケジュール確認
- ・ フライヤーの内容を確定させる

開催日時	2021年12月7日(火) 18:00~20:00	会場	Web会議 (zoom)
出席者 (○)	担当副会長: ○山口 英生 委員長: ○横山 尊重 副委員長: ○長友 寛昌 委員: ○有泉 絵美 寺本 勉(欠) ○小川 貴之 ○大根田雄一 ○瀬川 政仁 ○秋山 開次郎 オブザーバー: ○菅股 篤 事務局: 小山 菜摘(議事録書き起こし)		

1. あいさつ

2. 組織説明

○山口副会長より、神事協組織図(各委員会、ブロック)の説明

- ・ 会員サポートセンターでは事業承継のような形で仕事を委譲していくことをやろうとしている。
- ・ 同好会は委員会よりは柔軟い組織なので、繋がりを作ってもらえたら。

3. 議題

(1) 委員長・副委員長 互選の件

- ・ 互選にて横山委員長・長友副委員長が決定。
※菅股様は委員承認されるまでは、オブザーバー(副委員長代行のような立場)でご参加いただく。
- ・ 委員は Web 会議参加時に手当がつく。(追記: 1回 500円)
- ・ オブザーバーは誰でもウェルカム。
知り合いやメーカー等、賛助会誘致としても活用いただければ層も厚くなる。

(2) 予算関係

○令和4年度事業計画書・予算要求案について

- ・ 新規の若手会員が知りたい情報を収集し、動画や SNS で見てもらえる状況を作りたい。
- ・ まずは委員に Facebook の QR コードを読み込んで登録してほしい。
Facebook グループ(仮)で意見を抽出⇒他の委員会や同好会と資料や動画を共有⇒動画ストックを増やし、会員相互の交流を作る。
- ・ 青年世代のメンバーが少ない(集まりにくい)ため、他の委員会(例: 景まち、ブロック)に青年部会運営委員会の一員として参加し、活動の幅を広げる。
- ・ 収入の部: 動画公開の際、サブスクリプションとして年間ひとり 500円×50名=25,000円、消費税 10%プラスで 27,500円
- ・ 支出の部: 動画作成費、交通費、事務局経費/青年部会フライヤー(新規開設講習会でのアピール)
- ・ 会議費: 2か月に1度原則 WEB 開催だが、コロナの状況が良くなればリアル開催も視野。
- ・ 「動画の小技」: 技術的、経営的なことの裏技。具体的にはまだ未定。
事務所経営している中で疑問が湧いたとき、検索して参考にする動画を想定
- ・ 神事協で経営的側面をやっている委員会はないので、節税対策・法人化メリット・福利厚生など、個人でやるところをサポートできれば。
- ・ 青年会員: 50歳未満が該当。
マッチングや相談の橋渡しとして当委員会が機能し、リアルな仕事に繋がることを提案したい。

○日事連・令和4年度単位会組織強化支援事業について

- ・ 詳細な部分まで決めなくてはいけない模様。
- ・ 日事連では年 2000万円×5年=1億円の予算が見込まれている。
- ・ 丸投げは難しそう(例: HP 改修の見積が 150万円、上限いっぱい申請しあとは業者任せ等)
- ・ 5万円、10万円でも申請しておくのが良いのでは。ちなみに日事連の総財務委員長は白井会長。
- ・ 単位会あたり3件限度、単位会あたり最大 100万円、申請書提出期限は令和4年2月28日必着

⇒アイデアを出しながら模索する。

(3) その他

○青年メーリングリスト登録の件

- ・ 業務連絡用に今回出席の委員・菅股様のアドレスを登録。(欠席の委員には個別に確認)

○ブロック支部からの委員推薦について(山口副会長より)

- ・ 推薦が難しいという支部があったが、県全体を網羅した会にするべき。
エリアの知り合いにオブザーバーとしての参加や **Facebook** グループの声かけをしてもらいたい。

○日事連会誌記事の紹介

4. 次回日程および予定議題等

○次回は、2月上旬で **Web** 会議。後日「調整さん」にて決定する。

○フライヤー作成

- ・ 新規開設講習について：現在 **Zoom** で開催。委員会の宣伝もできる場なので活用したい。
次回(2/7開催)は難しいが、来年度に間に合うようにフライヤーを作成予定。

○青年部会運営委員会の仲間を増やすためには

- ・ フライヤーに載せられるような活動を具体的に考えたい。
- ・ 早速今日の会議の紹介として **Facebook** グループを活用する。

以上

開催日時	2022 年 2 月 8 日 (火) 17:30~19:30	会 場	Web 会議 (zoom)
出席者 (○)	担当副会長：○山口 英生 委員長：○横山 尊重 副委員長：○長友 寛昌 委員：○有泉 絵美 ○寺本 勉 小川 貴之 (欠) ○大根田 雄一 ○瀬川 政仁 ○秋山 開次郎 オブザーバー：○菅股 篤 事務局：小山 菜摘 (議事録書き起こし)		

1. 山口副会長よりあいさつ

2. 令和 3 年 12 月 17 日開催の統括委員長会の報告

・ (仮称) 会員サポートセンターについて

東京会は組織事務所が多いこともあり、神奈川会とは少し意味合いが異なる。

・ 市民と行政の中間で機能するのが神事協だが、魅力的な会にしなければ新規会員も入ってこない。

・ 今の体制は、青年部会運営委員会の動きも期待されている。

3. 議題

(1) 日事連・令和 4 年度単位会組織強化支援事業について

・ 締切が迫っており、細かい内容まで詰めなくてはいけないため、申請は難しいと思う。

・ 何かやりたい事業が先にあって、そのための申請なので、申請ありきの議論自体なくても良いのでは。

・ 青年としては、短期間でガッツと仕上げるよりは、皆が忙しい中少しずつ関わっていった方がチームとしての結束が高まると思う。

今回から単位会ごとの上限件数や金額にも制約が出ているが、しごと展を行っている神奈川会は昨年全国でも評価が高かった。特に鎌倉支部はデジタルでしごと展を行い、仕事に繋がったという話もある。

例えば人手不足の支部に対し、フォーム作りを青年が担い、エクセルに入力するだけでページが出来上がるような仕組みを作る等も考えられる。

⇒今回、日事連支援事業への申請は見送ることとした。

現在のメンバーや各委員会とのコラボを模索しながら、次々年度の青年部会運営委員会の活動を考えていきたい。(横山委員長)

○他委員会・他会の取り組み

・ 景観・まちづくり委員会ではコンペを 2 回開催。

どちらも応急仮設住宅関係で、建築技術教育普及センター・神奈川県安全協会の助成金を使用 (賞金・審査員をつける場合、助成金を謝金にまわす)。

青年でもコンペを行う場合はノウハウをお伝えすることもできる。

また、不動産会社 (エンジョイワークス) とともにインタビュー実施に向けてやりとりしており、異業種と連携を図っている。

青年同士のインタビュー動画を公開すると、会員が何をやっているかもわかる。(寺本委員)

・ 同業種の対談は紙面ではあるものの JIA でも実施しているので、目新しさはないかも。やるのであれば、同世代の異業種で活躍している人をお呼びしてはどうか。(有泉委員)

(2) 他委員会 (業務支援委員会) からの検討依頼について

○支部ブロックの官公庁等からの受託業務におけるサポートの合同検討 意見収集アンケートの実施

○「(仮称) 会員サポートセンター (コンシェルジュ)」の設立に向けたコンテンツの検討

・ 官公庁の仕事は業務の負担も大きい (積算・現場に赴く・報告書等)。事務所とのマッチングサポートのような仕組みがあれば良いのでは。若手同士の意見交換会も面白い。

- ・ 広報情報委員会では、(費用面も考慮し) 前向きに検討しますという回答に留めている。川崎支部では市のサポートをやっている方だと思うが、本会として受け皿になってもらえるのは良い。
- ・ 青年部会運営委員会が **DX** に明るい期待されすぎているのであれば、若い世代皆が詳しいわけではないので、そこは交通整理をする必要がある。
- ・ 他委員会でも、若い人=パソコン、というイメージになっているようだ。設計の仕事をやりたいのに、「青年世代だから(詳しいだろうから)」と **DX** 分野が集中しそうにも感じるので、整理したい。
- ・ 青年部会運営委員会が、委員会に入っていない青年会員の窓口という立場になると、その先に繋がっていきそう。

⇒青年部会運営委員会として前向きに検討すると回答することとした。
センターに関しては、新規入会者・若手に特化しサポートする。

(3) 当委員会の宣伝の為のフライヤー作成について

- ・ **A6・両面カラー・2,000部**で予算計上はしている。
- ・ 新規開設者講習を年4回開催しているが、最近は青年世代に限らず参加者自体が少ないため、開催回数を減らすという話も出ている。
- ・ 新規開設者講習・各支部・各ブロックにてフライヤーで青年活動を宣伝する。
- ・ **Facebook** の運用は一旦ストップしているが、今後のことを考えてフライヤーに **QR** コードを載せたい。
- ・ 会長より、青年部会運営委員会としてしごと展を開催してはどうかというご意見を頂戴した。
- ・

⇒次回までに、各自で掲載内容を考えてくることとなった。

(4) 東京都建築士事務所協会主催「関東甲信越ブロック青年交流会」のご案内について

⇒横山委員長、長友副委員長、菅股様に参加することとなった。

(追記：菅股様参加について東京会に確認し、了承を得た。)

4. 次回日程および予定議題等

- ・ 4月中旬開催予定として、調整さんにてスケジュールを決めることとした。
- ・ 議題：フライヤーの掲載内容、青年部会運営委員会としてやっていきたいこと

以上

開催日時	2022 年 5 月 11 日 (水) 15:00~17:00	会 場	Web 会議 (zoom)
出席者 (○)	担当副会長: ○山口 英生 委員長: ○横山 尊重 副委員長: ○長友 寛昌 委員: ×有泉 絵美 ○寺本 勉 ○小川 貴之 ○大根田 雄一 ×瀬川 政仁 ×秋山 開次郎 オブザーバー: ○菅股 篤 事務局: ○小山 菜摘		

■山口副会長よりあいさつ

(各種報告)

■3/18 日事連関東甲信越ブロック青年交流会 (横山委員長・長友副委員長・菅股様出席)

- 各団体とも、活動内容に変化なし。
地域・団体によって考え方が異なるため、近い地域同士リアル等で活動していけたら。
⇒交流会資料のロードマップ、交流会議事録を東京会へ確認し、当委員会あてに展開する。

■4/15 統括委員長会

- (仮称) 会員サポートセンター立ち上げ
青年から意見を出してほしいとの声があり、期待されている。

■以前提出の令和4年度予算案が、要求通り反映されました。

■4月より、新入会員は入会金&会費6ヶ月無料キャンペーン実施中

(議題)

■菅股様 委員推薦について

- 菅股様が事務所設立→このたび神事協会員(横須賀)に。横須賀ブロックより委員推薦書が提出済
⇒条項ずれ等を修正した規程改正案とともに、5/18 理事会にて上程。

■(仮称) 会員サポートセンター(コンシェルジュ) アンケート内容の確認・分析

- 理事・支部長・青年部会運営委員会が対象
実務関係の要望が多い(事業計画、経営、税務、Zoom、Web、YouTube)
- 事務所開設時、経営関係が一番困った。銀行の融資アプローチ等を横のつながりでフォローできれば、若い世代が苦しまずに済む。(寺本委員)

■フライヤー作成について

■青年部会運営委員会としてやっていきたいこと(前回の宿題)

- A6・両面カラー・2,000部で予算反映済
- まず青年部会運営委員会のHPをつくる
→各コンテンツへの誘導。小技動画、YouTube をアップ
→アンケートフォーム等を使用して情報を登録し、マッチングツールとして皆で使う場に
→顔写真や自分が手掛けた物件の閲覧ができるようにする。
- 小技動画(2分程度のライフハック動画)
設計場面で苦労すること・興味深い分野の動画をストック。動画作成は手間がかかるが、その過程で会

員同士の交流を増やす。

→取り組む工程数が多いので、ロードマップを示しては。完全に自分たちでやるのは難しい。次の世代に繋げていく土台としては。(山口副会長)

→5～10年ほどかけて達成していきたい。(横山委員長)

- ・ 会長より、青年部会運営委員会としごと展を開催しては？という案があった。

→川崎支部はしごと展開催がないため、支部の垣根なく開催できるならありがたい。(長友副委員長)

→数年前横浜支部で開催時、支部問わず募集した。計画すればできると思う。(山口副会長)

→来年度あたりの開催について先ほどのロードマップに盛り込み、仲間を集めたい。(横山委員長)

※Web開催の場合は、すでに実施した鎌倉支部の費用等の状況を確認。

- ・ トークセッション等、自分たちがやっていて面白くなるようにしたい。(寺本委員)
- ・ アピールポイントを載せられるのは魅力的。サポートセンターのアンケート回答からも、今後やることを拾っていければ。(菅股様)
- ・ 設備・構造設計は毎回知り合いにお願いしているので、横のつながりを広げたい。(小川委員)
- ・ 神事協の魅力は住宅・中高層ビル等、色々なことをやっている人がいるところ。マッチングを利用し、支部を超えて交流が簡単になれば。(大根田委員)
- ・ 何かをやるのが大事。委員だけでも仮でやってみて、投稿をためてフライヤーでアピールしては。(長友委員)

⇒次世代に引き継ぐことをテーマに、やることを絞って進める。(しごと展は来年度等)

■Facebook 公開について

- ・ Facebook の運用の話はどうなっているか。(横山委員長)

⇒以前(12/17)にリンク先 YouTube にて、全体公開で第三者の顔出しがあったため、同日の統括委員長会へ報告・確認が取れるまで、一旦非公開としていただくよう事務局より横山委員長へ連絡。

(事務局：小山職員→小林課長→磯部事務局長)

- ・ 委員会でやりたいことを、事務局が止める権利はない。ルールは決めなくてはいいないが、この内容は広報情報委員会に一任されている。回答がないので、青年部会の自助努力として公開しても問題ないのでは。(山口副会長)
- ・ 事務局が止めるのはよくないが、第三者のチェックがあるのはありがたい話。ご意見だけ受け止めては。(長友副委員長)
- ・ 景観・まちづくり委員会の Facebook ページはあるが、各委員会はない。有料コンテンツも取り扱いが不明確。(寺本委員)

⇒フライヤー作成に向け、Facebook 等限定公開に留め動画を投稿し、ストックを作る。

⇒Facebook・YouTube の運用規程を景観・まちづくり運営特別委員会(寺本委員長)、広報情報委員会(杉本副会長)と連携し内部で作り、統括委員長会→理事会に提出する。

⇒Facebook 記事を原則1人1投稿する。(建築に関わることなら何でも可)

■次回日程および予定議題等

7/29(金) 15:00～17:00 @Web 会議

※参集希望者は、寺本委員の事務所にて集合可

■大根田委員よりあいさつ

以上

開催日時	2022 年 7 月 29 日 (金) 15 : 00 ~ 17 : 00	会 場	Web 会議 (zoom)
出席者 (○)	担当副会長 : ○山口 英生 委員長 : ○横山 尊重 副委員長 : ○長友 寛昌 委員 : 有泉 絵美 ○寺本 勉 小川 貴之 ○大根田 雄一 ○瀬川 政仁 秋山 開次郎 ○菅股 篤		

1. あいさつ

- ・横山委員長、山口副会長より

2. 令和 4 年 7 月 1 4 日 (18 時 ~ 19 時) 開催された東京会第 9 回青年部会活動報告会のご報告

- ・横山委員長より、以下の通り参加報告。

東京会の青年部所属 124 名、当日参加 30 名。

千葉会、埼玉会、栃木会、新潟会、石川会、香川会、大阪会、熊本会からも参加された。

B I M 関係の報告、次世代につなげる活動として、高校生、専門学校生に設計事務所の内容等を知ってもらう活動を実施しているとの説明もあった。

コロナ禍なので、早く顔を合わせて会いたい、ボーリング大会を実施したい等の意見もあった。

当会としても、もっと仲間を増やしていきたいと感じた。

(ご質問)

- ・ B I M の報告の中で、悩んでいること等についての話はありましたか。
→ 実務レベルでの話は無かった。

(情報交換等)

- ・皆さんの B I M の導入 (取組み) 状況は如何でしょうか。

(寺本委員) ・モデルとして、三次元利用の取組みをしている。また、C G 系 (チームモーション) についても模索中。

(長友副委員長) ・積極的な B I M 導入は考えていない。

- ・ベクターワークスアーキテクトの正規版 (2021 年版) を導入した。

導入の際はアーキテクト以上を推奨する。

I T 補助金 : 最低 6 0 万円以上が対象で、1/2 が補助金となる。

3. 議題

○横山委員長より、委員長作成のロードマップについて、それぞれの事業等を説明。

統括委員長会へ資料提出することとした。

- ・フライヤー作成 (年度内に作成)
- ・動画投稿 (ライフハック動画) 年度内に運営規定の作成。
- ・人員増強・他委員会とのコラボなど
- ・しごと展 (青年主体で、オリジナルなもの。WEB も含める。)
- ・イベント・交流
- ・委員会開催予定 (今年度は、9 月、1 1 月、1 月、3 月)

(1) 動画投稿 (サンプル動画) について

- ・ Facebook（非公開）の中に動画等をストックしていく活動。
- ・ 投稿内容の説明
 - 横山委員長：仕事関係の動画。藤沢支部の若手4名で作成。2分程度。
 - 長友副委員長：設計事務所の仕事の一部として、模型の作り方を紹介する動画。画像の素材は、無料のものを利用。
 - 菅股委員：自己紹介的に自身の仕事内容を知ってもらうための動画。アーカイブにもなる。理想としては、仕事につなげていければと考えている。
 - 横山委員長：DIY（珪藻土を塗っている所。）の動画。賛助会にも協力を頂くことも視野に入れたい。
- ・ 神事協公式SNS運用ガイドライン（20220715 理事会承認）を確認。はじめは非公式とするが、公式に準じて運用していくこととした。

（ご意見等）

- ・ 瀬川委員：理解を深めてから発言をしていきたい。
- ・ 寺本委員：動画を作成するスキルがすごい。内容については、とても良い。また、色々な手掛かり（情報）が多い方が良い。スキルを共有してボトムアップにつなげたい。
- ・ 大根田委員：タイミングが悪く作成できていない。どれも興味深い内容。メンバーの中でも相手を知ることは大事だと感じた。継続するためにも定期的（義務的）にアップしてもらうことを考えた方が良い。
- ・ 横山委員長：アップしていくペースは、どのくらいでしょうか。1週間に1本程度？
- ・ 長友副委員長：アップするのは大変（時間と労力）である。今年度については、出来る方がやっていくことで良いのでは。また、運営規程の作成が必要。内容は、建築または設計事務所に関わるものとするなど。また、NGの判断については、当委員会で判断して削除する方法でも良いのでは。色々な動画や写真をアップして頂き、その内容を見て判断していければ。
- ・ 山口副会長：いかに簡単に動画を作成できるか等を教えて欲しい。動画ソフト、Facebook、タグのつけ方等も含めて。次年度予算案の作成について、11月に依頼される予定。青年の中でのコラボレーションや支部の中でも良い。現在支部の中で仕事をシェアしている。7/22 実施された支部長会において、各支部で新しい人を入会させるのに苦労している。また、入会されても青年部会の活動までに至っていない。新入会された方は、会の活動が分からないし、えらい人たちが活動しているイメージ（印象）を持っている感じがある。新入会員へ青年部会の活動を伝えるすべも考え、仲間に入ってもらって視点を活動していきたい。
- ・ 横山委員長：新規開設「建築士事務所」講習会の中で、青年部会のPRをしたいと考えているが、参加者が少ない状況である。ブロック支部委員会で、各ブロック持ち回りで担当ブロックの支部長等を含めての意見交換が9月9日に横浜で実施される予定。その中で青年部会をアピールし、青年部世代の方々にお伝え頂き、参加してもらい交流していきたい。
- ・ 山口副会長：青年世代の方が入会されたら、一度委員会へ呼んでしまう方が良い。支部長の中から、「若手を育てる仕組み（50歳未満で独立したい方のサポート）は無いのか」と質問があったので、青年部会で行っていることをお話しした。当委員会活動に参加いただける仕組みを作り、支部長会へ依頼することが良い。
- ・ 横山委員長：皆さんが参加している他の委員会等でも意識的にPRして欲しい。

<参考>

① スマホなどで動画編集できるアプリ <https://my-best.com/2040>

② 簡単な無料 HP フォーム（ここが一番良いのは検索時に上位に表示されやすい）

https://www.jimdo.com/jp/?utm_source=yahoo&utm_medium=cpc&utm_campaign=JP%20-%20S%20-%20

(2) 来年度開催予定のしごと展について

- ・青年部会主体で、会全体として実施したい。令和5年度の日事連単位会組織強化支援事業へ申請予定。次回までに方向性を決めて、企画を作っていくこととした。

(ご意見等)

- ・菅股委員 : 実施してみたい。開催方法は、リアル、WEBでしょうか。
また、実際にWEB開催した支部はありますか。
→ 鎌倉支部と大和綾瀬支部が実施。
ストリートビュー等を利用したバーチャル的なイメージでしょうか。
- ・横山委員長 : バーチャルはやりたいが・・・
- ・大根田委員 : WEBでの実施想定でしょうか。
→ その通りです。(リアルも出来れば、と考えています)
同時に講演会や作品を評価して表彰するなどを検討しては。
- ・横山委員長 : 負担が大きくなってしまっは仕方が無いので、写真、動画の提供と個人ホームページへのリンク等でも良い。
サイト作成に関しては、費用を調べる。
開催方法の検討として、まずは鎌倉支部方式とし、ルールや内容等を決めていきたい。
- ・長友副委員長 : WEB開催で考え、リアルへも展開していける方法が良い。
- ・寺本委員 : なるべく多くの人も目に触れるようにしていく仕組みが必要。例えば、各支部ホームページからリンクしてもらうこと、各支部で開催する「しごと展」でPRさせて頂くなど。
「しごと展」に出展して頂く依頼を兼ねて、青年部対象の方を訪問し、インタビューをしては。(方法は、事務所訪問、又はZOOM)
作品と本人写真をセットで掲載するのが良い。
- ・瀬川委員 : 発信する場合の対象者、実施する目的については、筋を通した方が良いと感じた。
- ・横山委員長 : 会員増強と交流を目的として実施。仕事につながるようなメリットを作っていきたい。
仲間内と外部に対するアピールの両方が対象。
事務所協会の仲間がつながり、仕事にもつながる活動にしていきたい。
お互いを知り、交流していく。また、疎遠になっている部分を紐づけしていければ。
インタビューはとても良い提案だと感じた。また、他の委員会とのコラボも良い。
- ・瀬川委員 : 現状のスキルでは、動画を上げるのが難しい。
- ・横山委員長 : 開催方法(具体的な内容)を次回までに考えて頂くよう依頼。
鎌倉支部へは企画から実施までをヒアリングすることとした。

<参考 鎌倉支部「しごと展」 <https://kamasigo.org/index.html>>

<参考 大和綾瀬支部「建築しごと展」 <https://j-kana-yamatoayase.jp/2022041240/>>

(3) フライヤー作成について (コンテンツ)

- ・「しごと展」の開催と「動画の投稿を始めています」を内容に入れたと考えていることを説明。
次回、内容を決めていきたいので、ご提案等をお願いした。

(意見等)

- ・菅股委員 : 事務所協会のロゴを入れる等の制約はないのか。
- ・寺本委員 : 規定は無い。前回ののぼり旗については、神事協のものかどうかが分からなかったの
で、入れることをお願いされた経緯がある。
- ・長友副委員長 : 動画配信と「しごと展」を同時にとあったが、フライヤーを先行し、見た方が興味を
もって参加できるようになった方が良いのでは。

- ・大根田委員：それぞれが同時進行し、相乗効果が出来ればなお良いのでは。

(4) その他

①9/29 開催「青年話創会 2022 熊本大会」について

- ・横山委員長と菅股委員が出席することを報告。併せて、熊本会へ提出した報告書を説明。

②イベント・交流情報

- ・青年世代を含めたものとしたい。

③会員増強、他委員会とのコラボについて

- ・作成するフライヤーを活用して、進めていきたい。

④日事連・単位会組織強化支援事業について

- ・横浜支部申請、採択された「(仮称)持続可能な神奈川の住まい・まちづくりを考える」について
これからの住まい、まちづくりを先行事例から考えるセミナーを実施。また、研究会も設置した。
9/27 と 9/28 のいずれも午後、青木公隆様より講演頂く。神事協会員は参加可能。
仕事の広がり等について、ご意見等があれば出して頂きたい。

<参考 講演者情報 アーコアーキテクト 青木公隆 様 <http://arco-architects.info/>>

⑤景観・まちづくり特別委員会からの報告

- ・湯河原町まちづくり課と景観整備機構指定について調整中。
幕山公園と川端公園の調査を 9/4 に実施予定。
サーヴェイ段階の情報と提案が必要
参加可能なので、青年部会の方にも関わって頂きたいとお願いした。

⑥委員会開催時刻の変更について（秋山委員からの要望）

- ・残業代等のこともあり、会長から各委員会へお願いされている。
- ・議事録作成に時間が掛かっているようだ。事務局には時間を作り、クリエイティブなことを考えて欲しいと要望している。そのため、議事録については委員会内で完結できる仕組みづくりを考えたい方がよい。

⑦7/29 有泉委員からの情報提供

- ・先日、横浜市磯子区で「親子建築模型体験」があり娘と参加してきました。
私が所属する団体(事務所協会、建築士会、JIA)ではそのようなイベントをすると聞いていないため、主催は何かかなと思いつつの参加。
atelier HOWTHINK の磯子区在住のメンバー(多分、30 代)が一人で 5 組に行っていました。
衣食住を義務教育内で教えると言っているが、住に関しては、学校での教育が弱いと感じ、少しでも建築に触れてほしいと、数人で集まり、模型キットも自分達で作り少しずつ活動しているが、神奈川県メンバーがひとり？なので、あまりイベントはできないとの事でした。
建築士会には所属しているようです。
事務所協会に青年部会というものがあり、もしかしたら、一緒に何か活動ができるかも…というお話をしたら、興味を持たれておりました。
もし、青年部会で、子どもへの建築体験イベントを通して、事務所協会を一般の方々へ周知する機会&会員を増やす事にご興味があれば、教えて下さい。宜しくお願い致します。

<参考>

<https://www.facebook.com/atelierHOWTHINK/>

https://www.city.yokohama.lg.jp/naka/kurashi/kyodo_manabi/kyodo_shien/kuminkatsudo/machinosenns_eitiran.files/0268_20220318.pdf

4. 次回日程および予定議題等

- ・ 9月開催予定とし、調整さんで調整。

山口英生副会長より

- ・ 青年については、全国的にあったまってきたおり、やっと動き出してきたとの印象。
- ・ 活動としては、仲間（青年世代）の支援をやっていかないと思っている。
- ・ 自身も青年世代ではなくなってしまうため、次の方々が活動をして頂きたい。自身としては、活動内容等を本会へ通す役割を担う。また、支部長や他委員会へ青年部会をPRしていく。
- ・ 横浜支部内の合同役員会で以下の提案をする予定。
新規開設「建築士事務所」講習会受講者などで青年に該当する方に対して、当委員会に1回は参加してもらい、活動を知って頂くための活動提案を予定。

開催日時	2022 年 9 月 27 日 (火) 10:00~12:00	会 場	Web 会議 (zoom)
出席者 (○)	担当副会長: ○山口 英生 委員長: ○横山 尊重 副委員長: ○長友 寛昌 委員: ×有泉 絵美 ○寺本 勉 ×小川 貴之 ○大根田 雄一 ×瀬川 政仁 ×秋山 開次郎 ○菅股 篤 事務局: ○小山 菜摘		

■あいさつ (山口副会長)

- ・ 相模原支部オブザーバー1名の参加が今回かなわなかったが、次回からアポイントを取って調整してほしい。
- ・ 横浜支部は入会数も多いが、コロナ禍もあり入会者に対しアフターケアが少ないと感じる。他会は交流の場を設ける・仕事を回す等、あったかい会となっているようだ。神事協は事務的な対応が多いため、アプローチを考えていきたい。

■各種報告等

- ・ 会報誌編集特別委員会より、
会報『KANAGAWA』11月号に全国大会報告 (青年話創会) 寄稿依頼あり。
締切 10/7。横山委員長・菅股委員で担当
- ・ 支部長合同ブロック支部委員会 提案内容について (横山委員長より)
直に意見交換出来る場を設け、支部からオブザーバー参加も可能としたい。
- ・ 横浜支部主催「第1回持続可能な神奈川の住まい・まちづくりを先行事例から考える連続セミナー」
寺本委員より案内
- ・ 景観・まちづくり特別委員会 寺本委員長より情報提供
温泉檜の景観調査を実施したところ、湯河原都市計画課より課題2点を示された。
①静岡県との県境の公園の整備
②幕山公園 通年の集客 (梅林時期は観光客が多いが、それ以外の時期の集客)
事業化に取り組むべくこれからアクションを起こすので、興味のある方は連絡してほしい。

■議題

(1) フライヤー作成について (コンテンツ)

- ・ 表: 青年部会運営委員会のアピール ※基本変更なし
裏: イベント等、その時によって内容を変えて印刷
各支部の青年世代に読んでもらえるような内容に。
- ・ 今後のスケジュール
11月委員会: 掲載内容検討 1月委員会: デザイン検討
- ・ 青年部会運営委員会としてのアイコンを作成してはいかがか。(寺本委員)
→神事協のマークを絡めるか、そうでないかも知りたい。(菅股委員)

⇒次回委員会までに各自で掲載内容 (箇条書き等。デザイン案も歓迎) を考えてくることとした。

(2) 来年度開催予定のしごと展について

- ・ Web開催を基本として、可能であればリアルで企画・講習会を行う方向
- ・ (参考) 鎌倉支部: Web制作費用 50万円程度 / 大和綾瀬支部: VRで展示を見ることが可能
- ・ エアメッセ (展示会ブースをARで再現): <https://airmesse.jp/>
1ブース 5.5万円～。Web内に展示場をつくる場合、YouTubeのリンクが可能

- ・ ギャラリスト 3D（美術館のような VR）：<https://gallerist3d.com/>
60 作品、60 作家までで月額 3,300 円～
- ・ ある程度外注になるが、作成時どういう手順で行うか。また、内容が良ければ良いほど費用がかかりそう。（長友副委員長）
- ・ サービスを 1 度利用すると、その後自分たちで変更できない。フレキシブルにお金をかけずにやるなら、コードを書ける人を探すか、自分たちで勉強した方が早いかも。ただ、負担は増える。（山口副会長）

（3）次年度予算案の作成について

- ・ しごと展実施にあたり日事連支援金として 100 万円の収入を見込んでいるが、委員会活動費に組み込んで良いものか？→事務局にて要確認。
⇒追記：事務局だけで判断は難しいため、青年部会運営委員会として「収入の部」に日事連見込み支援金をいったん盛り込んで予算案を提出し、12 月の統括委員長会にて投げかけてはどうかという話があった。

（4）（仮称）会員サポートセンター設立に向けて

- ・ 業務支援委員会から戦略企画講習会の依頼が来たが、報告スケジュールがかなりタイト。負担が増える一方なので、重く受け止めず自分たちが今やっていることを当てはめていく方が良い。新規開設向け講習会は、入会効果はかなりあるようだ。講習会内で青年部会運営委員会として時間をもらい、税務処理のコピー代計上等、皆が気になる部分を伝えてはどうか。（山口副会長）
- ・ 自分がやったことのない仕事の場合の対応や、仕事を取れた過程を伝えては。しごと展の展示でアピールできる内容でもある。
PR にあたり、記事作成（コンテンツ集め・テキストと画像収集・入力するライターを集める）が最も難しい。結局最終的に自分が執筆するケースが多く、皆が分担してやれるかどうかが鍵。媒体は問わず、記事をためることを重視しては。（寺本委員）

⇒横山委員長が 10/14 中間報告の文書を作成し、メーリングで流すこととした。
内容は作業量が負担になりすぎないことを意識する。

（5）その他

- ・ 会員より、ワンコインナイト再開希望の声をいただいた。
- ・ 現在の神事協のコンテンツは、仕事があり成立している事務所が前提となっている。
事務所を開設した方に向けて、継続的にサポートする仕組みを構築できないか。
例）車検のように数か月・数年ごとに支部や事務局から連絡する仕組み
先日の支部長会で、支部単位で入会者のフォローをお願いし、難しければ青年部会運営委員会に紹介をお願いした。（山口副会長）
- ・ 入会当初は組織が見えてこず、役員になって交流してやっと分かってくるようになった。
青年世代でざっくばらんに話す時間も必要に思う。（大根田委員）

⇒事務局より、ここ 2 年の入会者で青年世代の事務所を支部ごとにリストアップし、メーリングすることとした。

■次回日程および予定議題等

- ・ 11/2（水）15：00～17：00 @神事協会議室 2F
終了後、懇親会（予定）

開催日時	2022 年 11 月 2 日 (水) 15:00~17:00	会 場	Web 会議 (Zoom)
出席者 (○)	担当副会長: ○山口 英生 委員長: ○横山 尊重 副委員長: ○長友 寛昌 委員: ×有泉 絵美 ○寺本 勉 ○小川 貴之 ×大根田 雄一 ×瀬川 政仁 ×秋山 開次郎 ○菅股 篤 業務支援委員会: ○永島副会長 ○小山委員長 ○早川委員 事務局: ○小山 菜摘		

■あいさつ (横山委員長)

■各種報告等

- 9/30 全国大会が熊本にて開催。9/29 青年話創会には横山委員長・菅股委員が参加。
神事協会報 11 月号掲載

(寺本委員より以下 3 点案内)

- 日事連の景観・まちづくり委員会にて、全国の活動について冊子を発行する予定。
欲しい人は寺本委員まで。
- 「持続可能な神奈川の住まい・まちづくりを先行事例から考える連続セミナー」
横浜支部にて 11/30 開催
- 12/2・3 に大山講同好会を伊勢原宿泊にて開催。
エキスカッションや、行衣で参拝を実施予定

■議題

(1) 会誌「日事連」「新年の抱負」執筆者選定について (11/28 原稿締切)

- 小川委員が執筆を担当

(2) 次年度予算案について

(3) しごと展について

- (仮称) 会員サポートセンター検討依頼を受け、年 2 回 BIM 案内会を盛り込んだ。
- しごと展 WEB サーバー保守費の予算を 2 パターンで作成
① 5,500 円×12 ヶ月=66,000 円 ※1 社 2 作品まで
(ギャラリスト 3D ; <https://gallerist3d.com/>)
② 55,000 円×30 ブース=1,650,000 円
(エアメッセ : <https://airmesse.jp/>)
現実的なのは①だが、フォーマットが決まっているため自分たちで自由にいいれない。
- 動画をストックしても、解約するともう見れなくなってしまう？
せっかくならずと残る形で活用したい。
- BIM 自体、導入へのハードル (主に資金面) が高い。
- 日事連からの見込み支援金を収入の部に記載して良いかは事務局では判断できないため、
いったん収入に計上して予算案を提出し、12 月の統括委員長会で様子を見る。

⇒横山委員長が再度予算案を修正し、委員会に流すこととした。

(4) (仮称) 会員サポートセンター設立に向けて

(業務支援委員会より検討依頼内容、経緯の説明)

- 設立経緯: 神事協サービス (コンテンツ) の整理、非会員との差別化、会員増強に繋げる

「神事協に入会するとおトク」という構えをつくるのが目的。

外向きサポート：各事務所（もしくは支部単位）が仕事を取るために、どんなサポートができるか
神事協でまかなえないコンテンツは、外部委託を視野に日事連サービスへヒアリング予定
サポートセンターが出来ることで、事務局の負担が増えるのも良くないと認識している。

神事協会報 11 月号に（仮称）会員サポートセンターちらしを同封。

「経営塾」講習会を実施したこともあるが、青年世代の参加が少なかった。

青年部会運営委員会には、各委員からの要望の吸い上げ等、アイデア出しを行っていただきたい。（永島副会長）

- ・ 求められている内容と提供できる内容のギャップがある。
青年部会運営委員会にはそこをまとめていただければ。（小山委員長）
- ・ 「講習会」という言葉が強すぎるかも。スキル向上の講習会は他にもある。
それよりもワンコインナイトのように、コミュニティを重視いただきたい。（早川委員）

（各自意見）

- ・ 講習会となると、企画側も参加側も難しいと感じていた。
- ・ 告知方法も問題があるかも。メールだけでは中身を見ない人が多い。
- ・ 企画・講習実施は青年部会運営委員会にはそぐわない。
また、駆け出しの事務所に対し経営塾講習会等はハードルが高い。
実務で使えるアーカイブがたまると嬉しい。
- ・ 福祉関係の仕事を支部で受ける等、社会貢献の意味合いが強い仕事ができるのも神事協ならではの。
- ・ 小山委員長・早川委員が窓口となり、アンケートを実施（設問は青年部会運営委員会で考案）等もあり。
- ・ 今やっていることから徐々にすり合わせて進めていけば良いのでは。

⇒11/18 理事会にて、以下まとめて検討結果を示すこととなった。

※横山委員長が案を作成し、理事会では山口副会長より発言

①青年部会運営委員会へ期待されているのはコンテンツ出し

②事業への関わり方の検討（これは自分たちでやる、これは任せる 等）

（５）フライヤー掲載内容・アイコンについて

- ・ 菅股委員作成のアイコンを確認
- ・ フライヤーのたたき台を菅股委員が作成し、次回委員会にて意見を募ることとした。

■次回日程および予定議題等

- ・ 1 月会議を予定。調整さんにてスケジュール確認

開催日時	2023 年 1 月 13 日 (金) 10:00~12:00	会 場	Web 会議 (Zoom)
出席者 (○)	担当副会長: ○山口 英生 委員長: ○横山 尊重 副委員長: ×長友 寛昌 委員: ×有泉 絵美 ○寺本 勉 ×小川 貴之 ○大根田 雄一 ×瀬川 政仁 ×秋山 開次郎 ○菅股 篤 オブザーバー: ○竹内 軌道 業務支援委員会: ○永島副会長 ○小山委員長 事務局: ○小山 菜摘		

■山口副会長よりあいさつ

■各種報告等

- ・ 日事連会誌 1 月号に小川委員執筆の記事が掲載された。

■議題

- (1) 「(仮称) 会員サポートセンター設立に向けて」コンテンツ検討アンケートについての意見出し
 - ・ 日事連の会員サービス検討 WG に白井会長・永島副会長が参加中
 - ・ 2/17 統括委員長会でアンケート結果報告
 - 3/17 理事会報告
 - 4 月末サポートセンター全容説明会
 - 6 月の総会で決議が必要なものを提出 (予算も取る?)

(アンケート案について各自意見)

- ・ 匿名で回答ではなく記名式を希望。
現在の会員検索ページは細かく探すことができない。
紐づけは難しいが、より情報を得て会員のデータベース化が必要と思う。
- ・ 現行案は回答項目が多く、経営サポート: 事務所運営で 1:2 程度。
回答前に確認できるよう概要欄に記載しては。
また、説明会で理解を深めた後にアンケート配布が望ましい。質問欄も設けてみては。
- ・ 兼業の人はどう支援してほしいか見えるとよい。
- ・ アンケートを取っても、その後の展開が上手く繋がらない。
次のアクションを見据え、コメントをくれた人にアプローチしては。
- ・ 以前別の委員会で作成したアンケートは毎年実施予定だったが、
組織再編で委員会自体消滅してしまった。
1 回で網羅し結果を出すのは難しい。
内容をシンプルにし、次回の内容はレベルをわけのるのもあり。
シンプルであるほど HP に掲載するような常設アンケートにもできる。

(2) フライヤーたたき台・デザイン案決定

- ・ 菅股委員のデザイン案をもとに、掲載内容を話し合った。
- ・ 新規開設講習で配布予定 (次回 3/24、間に合わなければ次の 5 月)
- ・ 内容更新時は部数を調整し、PDF にしてメール配布もあり。

(検討内容)

- ・ 表: コピーライト「(例) つながる仲間、つながる仕事」
青年部会がどんなところか、参加してよかったと思える内容
- ・ 裏: 催事情報、QR コード
例) しごと展とは? の説明、ブロック支部委員会活動 (地引網、スポーツ大会)、

青年世代のその他活動 PR（お悩み相談できる環境等）

⇒コピー文言は各自宿題。

⇒会議欠席者にも送付し、掲載内容について広く意見を募る。

（3）次年度予算案について

- ・ 提出した内容を確認した。

（4）しごと展について

- ・ 横山委員長がたたき台を作成する。
- ・ Web 開催を基本とし、来年度 6 月に開催予定

■次回日程および予定議題等

- ・ 3 月上旬を予定。後日スケジュール調整

開催日時	2023 年 3 月 8 日 (水) 9 : 30~11 : 30	会 場	Web 会議 (Zoom)
出席者 (○)	担当副会長 : ○山口 英生 委員長 : ○横山 尊重 副委員長 : ○長友 寛昌 委員 : ○有泉 絵美 ○寺本 勉 ○小川 貴之 ○大根田 雄一 ×瀬川 政仁 ×秋山 開次郎 ○菅股 篤 事務局 : ○小山 菜摘		

■山口副会長よりあいさつ

■各種報告等

- ・ 日事連会誌 1 月号に小川委員執筆の記事が掲載された。

■議題

(1) フライヤー内容について

- ・ 表面 : コピーライトの意見出し「(例) つながる仲間、つながる仕事」
裏面 : 催事情報意見出し・記載内容決定
例) しごと展とは?の説明、ブロック支部委員会活動(地引網、スポーツ大会)等

(検討内容)

- ・ ログの下の方がかっちりしているので、バランスを考える
- ・ 青年の全体像として、四角ではなく円形よりのロゴも見てみたい
- ・ 英字の色調整(グレー?)が必要かも。コピーライトの方にもデザインを加える?
- ・ パッと見て、何をしている所かわからないかも(結論オモテ→内容ウラ等)
ウラ : 青年部会が何をするとするか、目指すもの
- ・ 催事情報は端的に「子供向けイベント企画を検討中」など記載したほうが、人は集まりそう。
- ・ 青年部会は世話人的役割が大きく、相談窓口などは難しいと思う。
- ・ コピーライト案 : 「人と人、仲間でつなぐ未来」

⇒次回委員会(5月)で内容を決定する。

(2) しごと展について

- ・ 日事連単位会組織強化支援事業の補助金は、青年部会運営委員会単体での申請不可
神奈川会は会員サポートセンター(仮)が満額支援を狙うこととなった。
⇒WEB しごと展(サーバー費用 66,000 円/年)の 11 月開催に向け動いていく。

(各自意見)

- ・ 会員事務所に募集をかけ、WEB 上に展示する作品を出してもらうのはどうか。
- ・ 委員会も 2 ヶ月に 1 回ではなく、別途打合せが必要かも。
- ・ WEB 展示と並行し、講習会・勉強会をやっても面白い。
- ・ コピーライト「つながる」に沿って、座談会を開催しては。
- ・ 以前開催のワンコインナイトは開催希望の声も根強い。
しごと展と絡めると色々展開できそう&コロナ明けは動きやすそう。
- ・ Facebook、HP を展開するのは整備が大変。
特に HP 系は結局 1 人だけに負担がかかるため、分業しては。
例) 管理者は 2 人・記事執筆者は〇〇委員等
個人としても、発信スキルを身につける良い機会だと思う。

(3)「関東甲信越ブロック WEB 青年交流会」

- ・ 開催日時：令和 5 年 3 月 29 日（水）18：00～20：00（Zoom）
参加締切：3 月 10 日（金）
- ・ 横山委員長、菅股委員が出席。事務局より参加申し込みを行う

(4) その他

- ・ 各自講習会のインフォメーションを行った。

■次回日程および予定議題等

- ・ 5 月の 15：00～17：00 神事協会議室にてリアル開催後、懇親会
日程は調整さんにてスケジュール確認
- ・ フライヤーの内容を確定させる